

ポーラ、「30% Club Japan」に参加登録 ダイバーシティ推進を強化し、持続可能な社会構築に貢献

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、社長：及川美紀）は、この度「30% Club Japan」（以下30% Club）に加入しました。30% Clubは、経営陣における女性比率の向上が、企業のリーダーシップやガバナンス強化、また業績の向上にもつながると考える企業のトップで構成される世界的なキャンペーンです。ポーラは、当Clubの掲げるビジョンに賛同します。

現在、ポーラの女性役員の割合は40%、女性管理職の割合は約30%を占めます。意欲と能力のある女性従業員の活躍の場の拡大や管理職への登用など、性別に関係なく、一人ひとりの能力を十分に発揮し、ライフスタイルの変化に合わせた働き方、環境づくりを推進しています。

さらに、全国各地域に存在するビューティーディレクター※の数は約41,000人にのぼり、20代～100歳以上と幅広い年代が個人事業主として活躍。スキルや売上のみならず、社会性・人間性を育みながら自分の可能性を広げ、多くの人や社会に影響を与えるビジネスリーダーを輩出しています。

ポーラは本年6月、誰もが「美しく生きる」ことができる社会を目指す「サステナビリティ方針」を策定し、2029年までのSDGsの目標数値を定めました。ゴールのひとつとして、『ジェンダー、年齢、地域格差、様々な「壁」の解消』を掲げています。今後も、ダイバーシティ推進を強化し、全ての人々が活躍できる社会を創造することで、30% Clubのミッションである「男女が平等に参画する豊かな社会の実現」への貢献を目指します。

トップメッセージ



変化が激しく前例が通用しない現在、新たな成長戦略を策定するためのキーフクターの1つが「女性の登用」だと考えています。今までのステレオタイプを打ち破り、新しい価値を創造するためには、まだ顕在化されていない女性の可能性の芽を見出し、育み、昇華させることで、革新的なイノベーションが生まれると信じています。ただ、女性の意思決定者を増やすことが最終のゴールではなく、性別、年齢、国籍、障害の有無などに関わらず、すべての人が自分らしさを発揮できる「真のダイバーシティ経営」を目指していきたいと考えています。

株式会社ポーラ 代表取締役社長 及川美紀（竹永美紀）

30% Clubとは

「30% Club」は、2010年に英国で創設された取締役会を含む企業の重要意思決定機関に占める女性割合の向上を目的とした世界的なキャンペーンです。現在、14カ国で展開されており展開国の数は増え続けています。

「30% Club Japan」は、取締役会やマネジメントチーム等、企業の意思決定機関における健全なジェンダーバランスは、企業のガバナンス強化はもちろん、持続的成長の促進、そして国際的競争力の向上、ひいては持続可能な日本社会の構築に寄与するものと考えます。企業、機関投資家、政府、メディア、プロフェッショナルファーム、エクゼクティブサーチファーム、大学等が協働する「統合的アプローチ」で企業はもちろん社会全体に働きかける様々なイニシアチブを展開し、効率的・網羅的に企業のダイバーシティを実現します。

※「30% Club Japan」 <https://30percentclub.org/about/chapters/japan>



※ビューティーディレクター：全国に展開するポーラのショップの中で、カウンセリングやエステなどをはじめとした美容を通じてお客さまのありたい姿を引き出し価値を提案する、プロフェッショナルな販売員。

【報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ コミュニケーション戦略部 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3
TEL：03-3494-7119 FAX：03-3494-6198 e-mail：pola_pr@pola.co.jp

【メディアに掲載いただくお問い合わせ先】

ポーラお客さま相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-117111

【ポーラ 2029年 サステナビリティ方針 目標】

社会 ジェンダー、年齢、地域格差、様々な「壁」の解消



- ①地域起業オーナー数：月商500万円以上のショップオーナー※を1,200人まで増やし、組織力が高い組織を拡大する。
- ②地方自治体（NPO・NGO含む）との協業件数：28件。協業から生まれる新しい価値を地域に還元。
- ③地域の中でロールモデルとして認知されるショップオーナーの数：110人。



- ①女性管理職比率：総合職従業員の男女比率と同等にする。
- ②美容職のダイバーシティの推進：ジェンダーのみならず、障害者・グローバル対応を推進する。
- ③育休取得率：男性・女性ともに、100%取得。



事業としての協業の拡大：全国協業実施へ。

経済 多様な人が、健康に、イキイキと活躍する機会の創出



- ①健康事由での退職者を限りなくゼロへ：がん罹患による退職者 0人
- ②アピアランスケアを理解し、各ショップ・コーナーの責任者または主力ビューティーディレクター※・ビューティーコーディネーター※が適切にアドバイスできる状態にする。
- ③ビジネスパートナーの健康診断受診率：80%へ。段階的に受診率や再診率を上げる。



- ①60歳以上のビューティーディレクターの数を増やす。（2019年12月現在：合計 11,894名）
- ②疾病・子育て・介護等で時間に制約がある人も働きやすい体制を整える。自由で自分らしい働き方を提供することで、一人ひとりが高いパフォーマンスを発揮し、生産性・創造性の向上を目指す。



外部パートナーとの連携や、働き方改革から、新しい価値を創出。

環境 未来に、次世代に環境をつなぐアクション



- ①スコープ1・2でCO2排出量を26%にする。
- ②お客さまへの新たな価値提供の実現を前提としながら、同時に、環境に配慮したサービスを提供する。



RSPO認証パーム油使用率：100%

※ショップオーナー：全国の地域でポーラショップを経営するオーナー

※ビューティーコーディネーター：百貨店ポーラコーナーで、カウンセリングをはじめとした美容を通じてお客さまの
ありたい姿を引き出し価値を提案する、プロフェッショナルな販売員。



ポーラは、新体操ナショナル選抜団体チーム・新体操個人日本代表「フェアリー ジャパン POLA」の
オフィシャルパートナーです。